

平群町
地域包括支援センター運営状況について

令和5年7月

目 次

1. 地域包括支援センター事業推移1
2. 令和4年度 地域包括支援センター事業報告及び進捗状況.....2~4
3. 令和5年度 地域包括支援センター事業計画.....5~7

地域包括支援センター事業推移(令和元年度～令和4年度実績) 令和5年3月現在

事業内容		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総合相談支援	総合相談(電話・来所・訪問)	2,513件	2,406件	2,331件	2,596件
権利擁護	高齢者虐待・成年後見等対応	7ケース	10ケース	31ケース	56ケース
包括的・継続的ケアマネジメント	介護支援専門員へのサポート等	介護支援専門員勉強会 2回 介護支援専門員合同研修 4回	介護支援専門員勉強会 中止 介護支援専門員合同研修 2回	介護支援専門員勉強会 1回 介護支援専門員合同研修 3回	介護支援専門員勉強会 1回 介護支援専門員合同研修 4回
地域ケア会議	個別の地域ケア会議	11回(47件)	12回(72件)	10回(52件)	12回(40件)
介護予防支援	介護予防サービス・支援計画(要支援1・2で予防給付のサービス利用者のケアプラン)	1,332件(総件数)	1,327件(総件数)	1,422件(総件数)	1,576件(総件数)
		431件(包括)	410件(包括)	390件(包括)	350件(包括)
		901件(委託)	917件(委託)	1,032件(委託)	1,226件(委託)
		32件(新規)	47件(新規)	26件(新規)	43件(新規)
介護予防ケアマネジメント	介護予防サービス・支援計画(要支援1・2で総合事業のサービスのみ利用者のケアプラン)	1,652件(総件数)	1,688件(総件数)	1,787件(総件数)	1,682件(総件数)
		465件(包括)	428件(包括)	481件(包括)	387件(包括)
		1,187件(委託)	1,260件(委託)	1,306件(委託)	1,295件(委託)
		62件(新規)	54件(新規)	45件(新規)	63件(新規)

介護予防サービス利用者数推移 令和元年度～令和4年度実績

介護予防サービス	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1,348人(実人数総数)	1,324人(実人数総数)	1,424人(実人数総数)	1,324人(実人数総数)
介護予防訪問介護				
介護予防訪問看護	226	229	210	299
介護予防訪問リハビリ	119	165	143	168
介護予防通所介護				
介護予防通所リハビリ	115	37	72	68
介護予防短期入所生活介護	10	0	37	0
介護予防短期入所療養介護	0	0	0	0
介護予防福祉用具貸与	1,043	1,022	1,136	1,261

介護予防・生活支援サービス事業利用者推移 令和元年度～令和4年度実績

介護予防・生活支援サービス	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪問型サービス	927	821	840	750
通所型サービス	1,756	1,821	1,981	1,970

重点目標	自立支援に向けた取り組みの充実		
業務	事業内容	実績	課題・評価
総合相談支援業務	<p>地域の高齢者等が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるように、様々な相談を受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするとともに、必要に応じて包括センターの各業務につなげるなどの総合的な相談・支援を行う。</p>	<p>総件数 延べ 2,596 件 介護相談 延べ 679 件 認知症相談 延べ 205 件 入退院相談 延べ 111 件 施設入所相談 延べ 43 件 その他の相談 延べ 1,558 件</p>	<p>複雑で多様化している相談に対し、情報提供や適切な機関や制度・サービスにつなぎ、地域包括ケアにおける継続支援の入り口としての機能を果たすことができた。今後も地域包括支援センターについてより多くの人に知ってもらい早期発見・早期対応・予防的対応ができるよう広報活動を継続する。</p>
権利擁護業務	<p>高齢者虐待の防止および対応、セルフ・ネグレクトの防止および対応、消費者被害の防止および対応、判断能力を欠く常況にある人への支援を行う。</p>	<p>高齢者虐待 延べ 51 件 権利擁護相談等 延べ 5 件 権利擁護講演会 12/19 講師：西和警察 高齢者特殊詐欺の防犯講習を予定していたが講師がコロナ感染のため中止 カンファレンス 8回開催 ・虐待 7回 4 事例 ・消費者 1回 1 事例</p>	<p>高齢者虐待の相談は 平群町役場や関係者と連携しながらカンファレンスの開催などの対応を行っている。今後も、在宅生活者・施設入所者を問わず、高齢者などの権利侵害事例について関係機関との連携のもと迅速に対応を行う。</p>
マネジメント支援業務 包括的・継続的	<p>多様な生活課題を抱える高齢者等が地域でその人らしい自立した生活を継続するために、個々の高齢者等の課題や変化に応じたあらゆる社会資源を適切に活用し、包括的・継続的なケアマネジメントを介護支援専門員が実践することができるように、地域の環境を整備する。</p>	<p>生駒郡介護支援専門員合同研修会 4回 65人 ・栄養アセスメントについて ・生活保護制度について ・在宅医療における介護支援専門員と薬剤師の連携 ・BCP作成について 町内介護支援専門員勉強会 1回 18人 ・BCPに向けて「災害を自分事として考え、災害に備える」「福祉職として、支え合う仲間としてできること」 ・西和 7 町退院調整ルールづくり事業全体会議の報告</p>	<p>介護支援専門員の実践力向上支援として、オンライン研修にて合同研修会を例年通り4回開催し知識を深めてもらうことができた。令和5年度には、関係機関との連携体制構築支援として、民生委員との定期情報交換会を新設し、地域づくりの一環として推進していく。</p>

業務	事業内容	実績	課題・評価
在宅医療・介護連携推進事業	<p>医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるように、在宅医療と介護が一体的に提供できる体制を目指し、医療機関と介護事業所等の関係者の連携をすすめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡4町と生駒地区医師会の協働による ・生駒郡地域ケア会議 2回 ・多職種勉強会 1回 100人 「保健所のコロナ感染症対応及び対策の実態とその変化、今後について」 講師：郡山保健所 健康増進課 課長 本木隆規先生 「高齢者のコロナ感染者サポートと地域医療の取組みについて」 講師：斑鳩町前田クリニック 院長 前田 代元 先生 ・西和メディケアフォーマル地域検討会合同会議 2回 ・西和地域退院調整ルールづくり事業 全体会議 52人 ・地域事例検討会 1回 37人 ・住民向け在宅医療介護講演会 「在宅で最期を迎えるということ」 66人 講師：ひばり往診クリニック 院長 森井正智 先生 	<p>在宅医療と介護の連携に関する課題の抽出や対応策について多職種間で意見交換し、医師とケアマネジャーとの連携ツールを開発することになった。</p> <p>多職種勉強会では、コロナ感染症の5類移行など対応が変化していく中、保健所と訪問診療医による現場の貴重な声を聞くことで、事業推進には情報収集と多職種によるさらなる連携が重要であることが分かった。西和地域7町では地域包括ケアシステムの構築にロジックモデルを取り入れ、また、住民向けの住み慣れた地域で暮らすためのガイドブックを作成中。住民向け在宅医療講演会では、在宅医療・介護について理解を深めていただくことができた。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">認知症施策推進事業</p>	<p>認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる地域を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら、認知症の理解を深める活動や早期診断、早期対応に向けての体制を整える。</p>	<p>認知症相談会 9回 20人 認知症オレンジカフェ心晴 12回 参加者 120人 ボランティア 86人 晴れ晴れ教室 前期:22回 281人 後期:21回 369人 認知症家族介護者交流会 2回 9人 認知症講演会 1回 70人 「認知症は頭と体を使って楽しく予防しましょう！」 講師:藤原達成氏 認知症サポーター養成講座 一般向け 5回 83人 キッズ向け 1回 21人 認知症サポーターステップアップ講座 1回 17人</p>	<p>認知症相談会や認知症カフェ、認知症予防教室はコロナ感染症予防対策を行い継続することができた。認知症サポーター養成講座も実施し、チームオレンジ設立のためのステップアップ講座も開催できた。認知症家族介護者交流会も再開でき、今後も認知症に関する正しい知識も持ってもらえるような機会を増やすとともに、認知症予防や早期診断・早期対応にむけての取り組みを実施していく。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域ケア会議推進事業</p>	<p>高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進め、地域包括ケアシステムを推進するために、多職種による個別ケースの支援内容の検討等を行い 課題の分析を積み重ねることにより地域課題を把握する。</p>	<p>地域ケア会議 自立支援 12回 40件 困難事例 9回 5件</p>	<p>自立支援型地域ケア会議は感染予防対策をとりながら実施した。構成員に歯科衛生士と管理栄養士、CSW が加わったことで、専門的な助言により会議中にも解決策などが提案され、ケアプランにもすぐに反映される効果があった。また振り返りにより、各専門職からの視点で地域課題の確認ができた。困難事例の地域ケア会議は随時必要に応じて開催し、解決に向けて継続支援をしている。</p>

業務	事業内容	実績	課題・評価
介護予防ケアマネジメント (第1号介護予防支援事業)	事業対象者および、要支援1・2の認定者のうち介護予防・日常生活支援総合事業のみを利用する人が、要介護状態になることをできる限り防ぎ、地域において自立した日常生活を送ることができるよう、その心身の状況、置かれている環境等に応じて、対象者自らの選択に基づき、適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要な支援を行う。	給付管理の件数 総件数 1,682 件 包括 387 件 委託 1,295 件 新規利用者 63 件	高齢者の自立支援に資するよう、利用者の目標を共有し、その達成のための具体策を実施した。今後も高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐため、心身機能だけではなく活動や参加といった社会性も重視した総合的な視点を持って支援していく。
一般介護予防事業	高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進する。さらに、地域においてリハビリテーション専門職等を活かした自立支援に資する取り組みを推進し、要介護状態になっても、生きがい・役割をもって生活できるような地域の実現を目指す。	元気アップ教室 16回 150人 へぐりいきいき百歳体操 15か所 体験講座 6回 27人 体験交流会 1回 80人 応援講座 1回 61人 出前講座 1回 20人 リハビリテーション専門職派遣事業 11団体 (運動6 認知症3 口腔2) はつらつサロン 6回 35人 ラジオ体操講座 2回 15人 ウォーキング講座 2回 15人 あれこれ講座 3回 51人 タオル体操講座 4回 37人	介護予防教室はコロナ感染状況をみながら感染予防対策を取り継続することができた。住民運営の通いの場も徐々に再開し、現在地域でいきいき百歳体操をしているところは15か所である。1か所立ち上げのため出前講座を行ったが立ち上げには至らなかった。新規立ち上げ、新規参加者勧誘のためにチラシを作成し啓発を行った。今後も高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐことができるように介護予防教室等を実施していきたい。
指定介護予防支援事業	介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、可能な限りその居宅において自立した日常生活を継続するために、介護予防サービス等の適切な利用ができるようケアマネジメントを行う。	給付管理の件数 総件数 1,576 件 包括 350 件 委託 1,226 件 新規利用者 43 件	要支援1・2の方に対し、心身の状況や生活環境等のアセスメントをもとに、本人や家族の希望を考慮したケアプランを作成し、出来る限り自立した生活を営めるように支援を行った。

重点目標	地域共生社会を見据え、だれもが誰かとつながる町を目標に、住み慣れた町で安心して暮らすことができる地域づくりに取り組む。
------	---

事業名	業務	事業内容	計画
1. 包括的支援事業	総合相談支援業務	地域の高齢者等に関するさまざまな相談を受け止め、複雑かつ多様化する相談に対し、3職種がチームとなって必要な方策の検討とそれに基づく速やかな初期対応を行い、適切な機関・制度・サービスなどの社会資源につなげる。また、継続的なフォローや必要に応じて包括センターの各業務につなげるなど総合的な相談・支援を行う。	できるだけ早い段階で相談を受理できるように、本人、家族、近隣の住民、地域のネットワーク等を通じた相談に対し、窓口・電話・訪問等で随時対応する。また地域包括支援センターに相談がにつながるように周知していく。多様な相談に対し、高齢者の心身の状況や家庭環境等についての実態把握を行い課題やニーズの早期発見、早期対応に努める。
	権利擁護業務	高齢者の虐待の防止および対応、セルフ・ネグレクトの防止および対応、消費者被害の防止および対応、判断能力を欠く常況にある人への支援を行う。	高齢者の権利を守るため、相談案件に迅速に対応し、適切な活動やサービス等につなげる。また、判断能力が低下する前からの備えの重要性について、専門機関等に学習会を依頼し地域住民や関係機関に対して広く周知・啓発を行っていく。
	包括的・継続的マネジメント支援業務	高齢者等が住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を継続できるように、個々の高齢者等の状況や課題及び変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントを実現するために、介護支援専門員への支援や地域における多職種連携・協働の体制づくりを行う。	介護支援専門員を対象に、町内ケアマネ連絡会(年3回程度)、生駒郡4町合同研修会(年4回程度)を実施し、意見交換会や情報提供及び研修を企画・開催し、制度の理解や専門性の向上を図る。また、定期的に民生児童委員と介護支援専門員との連携が図れるよう取り組みを進める。
	在宅医療・介護連携推進事業	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制を整備するために、医療機関と介護事業所、行政等との連携を図る。	生駒郡4町及び西和地域7町と地区医師会、病院、診療所、保健所、県、介護事業所等と協働し、在宅医療介護連携の課題の抽出と対応策を検討する。多職種勉強会の開催、退院調整マニュアルの活用と評価、在宅医療介護資源集の改定と発行。地域住民への在宅医療についての知識の普及啓発。在宅療養が必要になったときにサービスを適切に選択できるように住民向けに住み慣れた地域で暮らすためのガイドブックを作成、配布、評価を行い、周知・推進する。

事業名	業務	事業内容	計画
	認知症施策推進事業	認知症の人や家族の視点を重視しながら、認知症の理解を深める活動や早期診断、早期対応につながるよう支援する。認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる地域づくりを目指す。	認知症への正しい理解を深めるための知識の普及・啓発に資するよう、認知症サポーター養成講座を自治会等でも実施できるよう積極的に働きかける。9月のアルツハイマー週間には認知症シンポジウムを実施予定。また、認知症の人を介護する家族の交流会や、認知症カフェを通じ、認知症の人と家族の意向やニーズを知り、チームオレンジの活動につなげる。また、認知症発症予防につながるよう認知症予防教室等の充実を図る。
	地域ケア会議推進事業	地域包括ケアシステムを推進するために多職種による個別ケースの支援内容の検討等を行い、課題の分析を積み重ねることにより地域の課題を把握し、地域づくりや資源開発につなげる。	自立支援にむけた地域ケア会議を毎月開催し、地域課題の抽出を行い、福祉こども課に報告提出する。困難事例に関する地域ケア会議は必要に応じ、随時開催し解決につながるよう、連携を継続していく。
2. 介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防ケアマネジメント (第1号介護予防支援事業)	要支援者等が要介護状態になることをできる限り防ぐため、自らの選択に基づいた適切なサービスを利用し、地域において自立した日常生活を送ることができるように支援する。	高齢者等の自立支援を目的に、利用者と目標を共有し、その達成のために利用者が介護予防の具体策に取り組めるように支援する。 事業所としてのBCPの策定および、担当利用者の災害時個別計画の作成を推進する。
	一般介護予防事業	高齢者が居宅において自立した日常生活を営むことができるように、生きがいづくりや介護予防のための運動や知識の普及啓発等を行い、活力ある地域づくりを推進できるように支援する。	高齢者等が要介護状態とならずに可能な限り自立した生活を過ごせるよう介護予防教室等の開催、居場所づくりのために「はつらつサロン」を開催する。また、地域住民が主体となって取り組む「へぐりいきいき百歳体操」や「ラジオ体操」の普及啓発・支援を行う。高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施において福祉こども課、健康保険課と情報を共有しながら実施する。
3. 指定介護予防支援事業	指定介護予防支援	要支援者が、可能な限りその居宅において自立した日常生活を継続するために、予防給付の介護予防サービス等を適切に利用できるよう支援をする。	要支援者が、要介護状態にならずにできるだけ自立した生活ができるように支援する。 事業所としてのBCPの策定、担当者の災害時個別計画の作成を推進する。

介護予防計画委託先事業所(追加)

(R5年3月31日現在)

No.	事業所名	代表者氏名	住 所	事業所番号
1	ピーター薬局居宅介護支援事業所	保井 芳昭	奈良県北葛城郡王寺町九度4丁目3-13	2973200187
2	居宅介護支援事業所 さくらんぼ	村上 和之	奈良県生駒郡三郷町立野北2丁目5番27号	2971500646

令和5年度地域包括支援センター事業報告（令和5年4月～6月末現在）

重点目標	地域共生社会を見据え、だれもが誰かとつながる町を目標に、住み慣れた町で安心して暮らすことができる地域づくりに取り組む。
------	---

業務	実績
総合相談支援業務	総件数 646 件
権利擁護業務	高齢者虐待 1件 カンファレンス 2回開催
包括的・継続的 ケアマネジメント支援業務	・5/30 町内ケアマネ連絡会 参加者17名 「西和地域7町退院調整ルールづくり事業 令和4年度 入退院調査・アンケートの報告」 今後の連絡会の内容について意見交換
在宅医療・介護連携推進事業	・6/29 西和メディケアフォーラム 参加者 42 名 参加者：西和医療センター、生駒・北葛地区医師会、 各町世話医、西和地域6病院、西和7町行政・包括等
認知症施策推進事業	・認知症相談会 1回 2名 ・認知症予防「晴れ晴れ教室」 15回 297名 ・認知症カフェ 3回 40名
地域ケア会議推進事業	・3回 12事例
(第1号介護予防支援事業) 介護予防ケアマネジメント	給付管理の件数 総件数 401 件 包 括 100 件 委 託 301 件
一般介護予防事業	・元気アップ教室 7回 92名 ・ウォーキングレッスン 2回 29名 ・ラジオ体操講座 1回 11名 ・はつらつサロン 1回 10名
指定介護予防支援事業	給付管理の件数 総件数 368 件 包 括 87 件 委 託 281 件